

第 2 号余川橋橋梁補修調査設計業務概要

業 務 名 第 2 号余川橋橋梁補修調査設計業務

業務場所 東伯郡三朝町大字穴鴨

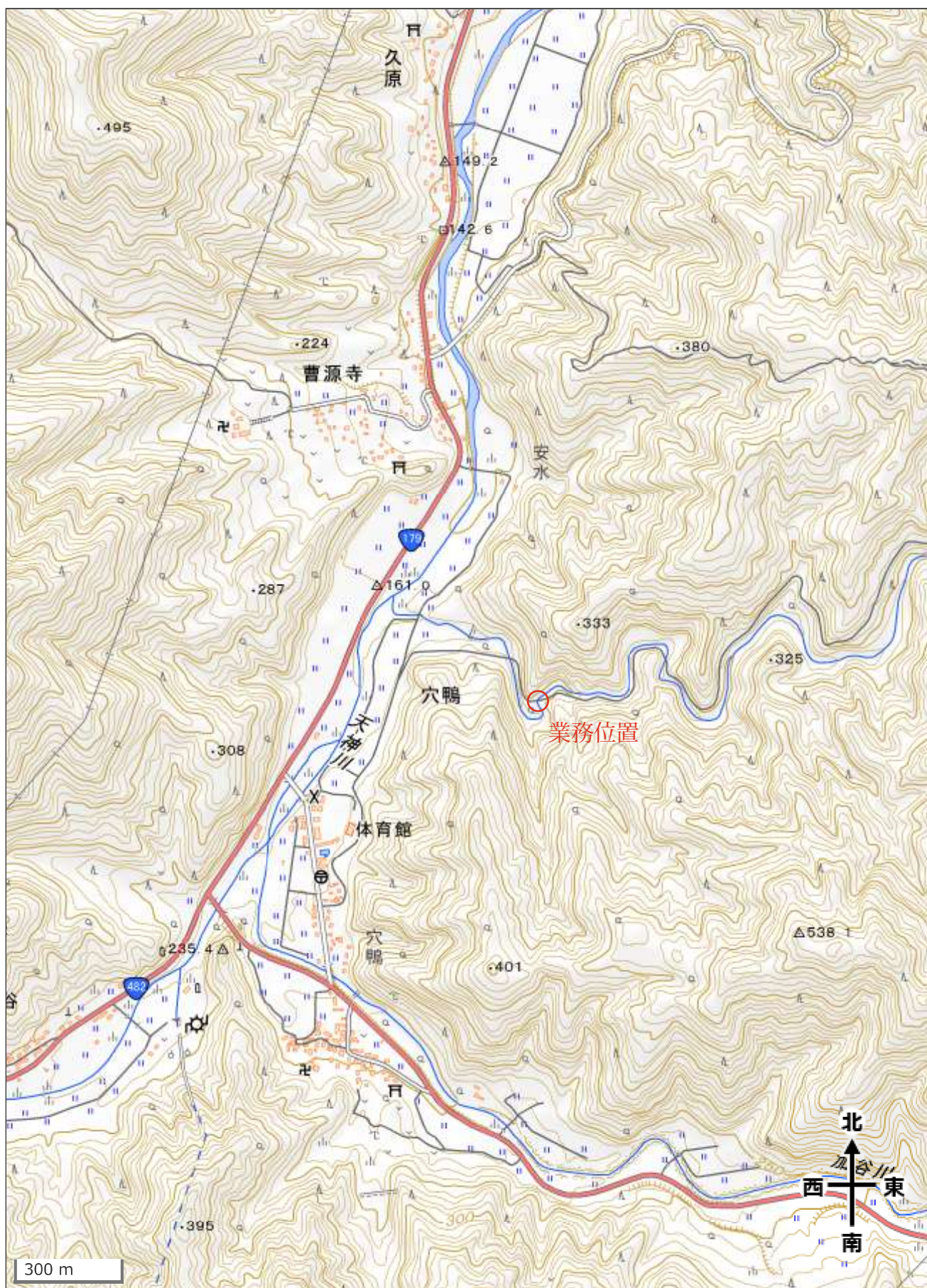
履行期間 契約日～令和 8 年 1 月 2 3 日

業務概要 橋梁補修詳細設計
 林道余川線の第 2 号余川橋において, 安全で円滑な交通の確保,
 沿道や第三者への被害の防止を図るための橋梁に係る補修設計を
 行う。

業務数量 別紙のとおり

第2号余川橋補修詳細調査設計業務 数量総括表

[illegible]



第2号余川橋橋梁補修調査設計業務特記仕様書

1. 適用範囲

第2号余川橋橋梁補修工事に係る詳細調査設計業務に適用する。

2. 業務の目的

本業務は、鉄筋およびコンクリート、鋼材、伸縮装置、舗装等の劣化診断における計画、調査、測定を行い、将来的な劣化予測並びに補修・補強及び架替えの要否の判定及び対策等を立案し、対策工事に必要な詳細設計を行うことを目的とする。

なお対象は定期点検で劣化が確認された上・下部工とする。

3. 調査橋梁

・第2号余川橋 1径間 鋼鈑桁 橋長 25.7m 全幅 4.8m
三朝町大字穴鴨

4. 作業内容

4. 1 橋梁補修詳細調査

上部工の劣化状況や原因を把握するため、下記の調査を行う。

1) 現地踏査

調査計画書を作成するために現地を踏査するもので、詳細調査時に橋梁点検車が必要か否か、必要であれば橋梁点検車の日数および規模、材料の運搬経路、交通量、交通規制（交通整理員の配置人数）、橋梁の劣化程度、その他調査を実施するために必要な現場の概況を確認する。

2) 調査計画

特記仕様書に記載されている業務の目的および内容、発注者より貸与された資料、現場踏査結果を基に調査業務の作業方針を確立する。

3) 形状調査・一般図作成

現況形状を図面に復元し、補修検討・補修詳細設計および維持管理の基礎資料に供する。既存資料がない場合は、現況主要寸法を測定する。

既存資料がある場合でも、資料との整合を確認するため主要寸法を測定する。

4) 変状調査（上部工）

橋梁全体に対して目視、クラックスケール等による外観の変状調査を行い、劣化・損傷の位置・規模を調査士し、損傷図を作成する。

変状調査：近接目視を基本とし、ひび割れ（チョーキング）、遊離石灰などの析出状況、漏水、錆汁、鋼材状況（概略目視による亀裂の有無、腐食状況）を調査する。また、同時に打診ハンマーによる点検を実施し、コンクリートに浮が生じていないか確認する。

近接目視が困難な場合は、別途適切な方法により調査を行う。

5) 調査結果とりまとめ

変状調査、はつり調査及び各種試験等の結果について、とりまとめを行う。

~~6) 高圧洗浄~~

~~コンクリート表面に汚れ、析出物が多く付着している部分は、調査前に高圧洗浄処理を行い、これらを極力除去する（隠れているひび割れ確認のため）。作業に橋梁点検車が必要な場合は車両使用日数を計上する。~~

7) 橋梁点検車運転

詳細調査（変状調査）は橋梁点検車の使用を基本とする。現地踏査の結果、幅員狭小、桁高が高い等の理由により橋梁点検車の使用が不適当な場合は、他の仮設足場を別途計上する。なお、橋梁点検車使用時の交通規制を考慮して、交通整理員を別添設計書のとおり見込んでいる。

~~8) 鉄筋探査~~

~~鉄筋切断を防ぐ為、鉄筋位置の確認調査を実施する。~~

~~9) はつり調査・復旧~~

~~鉄筋探査を実施し、鉄筋の位置を確認した上で詳細なはつり調査位置を決定する。調査は既設鉄筋のかぶり、経、ピッチおよび腐食状況の確認を行い、補修設計の資料とする。確認後はポリマーセメントモルタル等を用いて復旧を行う。作業に橋梁点検車が必要な場合は、車両使用日数を計上する。~~

~~10) コア採取・復旧~~

~~鉄筋探査の結果をもとに、各種試験の供試体として所定量のコンクリートコアを採取する。~~

~~採取後は、ポリマーセメントモルタル等を用いて復旧を行う。採取コアの基本寸法は以下とするが、配筋状態により採取が困難と思われる場合は適宜変更する。作業に橋梁点検車が必要な場合は、車両使用日数を計上する。~~

~~圧縮強度試験用：φ100×L—200~~

~~膨張試験用：φ100×L—250~~

~~11) 中性化試験~~

~~採取コアを用いてフェノールフタレイン法により、コンクリートの中性化深さを測定する。~~

~~試験方法は、JIS A 1152 を基本とする。~~

~~12) 圧縮強度試験~~

~~採取コアを用いてコンクリートの圧縮強度を確認する。~~

~~試験方法は、JIS A 1108 を基本とする。~~

~~13) 静弾性係数試験~~

~~採取コアを用いてコンクリートの静弾性係数を確認する。~~

~~試験方法は、JIS A 1149 を基本とする。~~

~~14) 塩分含有量試験~~

~~採取コアを切断して、付加さ方向におけるコンクリート中の塩分含有量を確認する（5スライスを基本とする）。~~

~~試験方法は JIS A 1154 を基本とする。~~

15) ~~膨張量試験~~

~~採取コアを用いて膨張量試験を行い、アルカリ骨材反応や今後の進展を推測する。
試験方法は JCI-DD2 を基本とする。~~

4. 2 橋梁補修詳細設計

1) 設計計画

特記仕様書に記載されている業務の目的および内容、発注者より貸与された資料を基に業務計画書を作成する。

2) 原因推定および健全度評価

調査結果をもとに、劣化の原因を推定し、構造物の健全度を評価する。

3) 補修工法の比較・検討

劣化原因、健全度から補修の要否を判定し、対策が必要な場合は適した工法により構造的・施工性・経済性等の比較検討を実施し、最適な対策工法を検討する。

4) 補修詳細設計

補修を必要とする部位について詳細設計を行い、施工に必要な図面及び数量計算書を作成する。ただし、劣化が著しく、耐荷力向上の必要性が考えられる場合や、支承交換するなど構造計算が必要な場合は別途計上する。

① 上下部工・・・橋梁全体（伸縮継手・高欄取替除く）の補修詳細設計

~~② 伸縮継手・・・伸縮継手の補修詳細設計~~

~~③ 高欄取替・・・高欄取替を行う場合の補修詳細設計（高欄基部の構造検討含む）~~

④ 支承補修・・・補修詳細設計、仮設計画

~~⑤ RC 単純床版橋（標準設計）~~

5) 施工計画

補修・補強工事に必要な足場等施工計画及び河川等占用申請書類の作成を行う。ただし、仮締切などの大規模な仮設計画は別途計上。

6) 概算工事費の算出

詳細設計により得られた数量をもとに概算工事費を算出する。

7) 照査

調査は 2) から 6) の事項について照査する。

8) 報告書作成

劣化診断の結果、補修設計の経緯と工法の内容について整理するとともに 2) から 6) の内容について報告書を作成する。

5 成果品

提出すべき成果品は下記のとおりとする。

- ・ 橋梁補修設計報告書 1 部
- ・ 電子データ (CD-R) 1 式 (2 枚)

6 補修工事 (予定)

令和 8 年 10 月中旬から令和 9 年 3 月下旬

業務名：第2号余川橋橋梁補修調査設計業務

特 記 仕 様 書

第1(目的・主旨)

本業務は、鉄筋およびコンクリート、鋼材、伸縮装置、舗装等の劣化診断における計画、調査、測定を行い、将来的な劣化予測並びに補修・補強対策等を立案し、対策工事に必要な詳細設計を行うことを目的とする。

第2(適用範囲)

本業務の履行に当たっては、特に定めのない限り、調達公告日時点で最新の「設計業務共通仕様書」によるほか、この特記仕様書によること。

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
追加				業務内容		数量総括表参照
追加				資料の貸与及び返却		本業務において必要となる資料については、初回打合せ時において、双方確認し貸与することとする。 【貸与資料】 ・第1号余川橋橋梁補修調査設計業務報告書
追加				歩掛		当該調査橋梁の構造及び損傷状況は、昨年度調査設計を行った第1号余川橋と類似していることから、歩掛の一部に類似補正を行っている。 調査の結果、新たな検討内容等が判明した場合は調査職員と協議を行うこと。
追加				関係官公庁への手続き等		協議が必要となることが想定される場合には、調査職員に速やかに報告すること。
追加				成果物の提出		成果物は、下記のとおりとする。 ・報告書(紙媒体) 1部 ・電子媒体(CD-R等) 2部
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協議し、速やかに処理すること。
追加				設計変更等取扱要領		設計変更等については、 https://www.pref.tottori.lg.jp/303205.htm に掲載された最新の「測量等業務設計変更等取扱要領」によること。
追加				情報共有システム		情報共有システムを利用すること。 ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、調査職員と協議の上、紙書類によることができる。 情報共有システムの利用に当たっては、 https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm に掲載された本業務調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」によること。
追加				履行状況報告書		履行状況報告書を月毎に提出すること。履行状況報告書の様式は問わない。業務計画書に掲載の業務計画工程表に実績(赤色)を対照したものでも可とする。なお、業務工程表には提出時点での状況、課題や問題、当面の目標・予定、次回打合せ(時期及び打合せ内容)を記載すること。

【設 計 業 務】

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
1	1		1106	管理技術者及び照査技術者	3	資格要件は調達公告による。
			1108	担当技術者		資格要件は調達公告による。
1	1		1110	打合せ等	2 4	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において行うこととし、4回を予定している。 ・当初・中間(2回)・成果納品時 なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち会うこと。

業 務 委 託 に 関 す る 協 議 書				
業 務 名			位 置	
受 注 者				
履行期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
委 託 料	円			
協 議 事 項				
上記のとおり協議します。			管理・主任技術者	
			令和 年 月 日	
承諾・指示の回答希望期限日 令和 年 月 日		左記日程を希望する理由		
受付確認課長補佐 (主任調査員)印				
回 答 理 由				
概算増減額	約 千円 増・減			
上記のとおり(承諾・指示)してよろしいか伺います。				
令和 年 月 日				
町 長	副 町 長	課長(参事)	合 議	調 査 職 員
上記のとおり(承諾・再協議)します。				調 査 職 員
(上記のとおり承諾・別添のとおり再協議)します。				管理・主任技術者
令和 年 月 日				

林道橋定期点検調査帳票(簡易版)

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
	202	自動車道2級	普通	2019/11/7

橋梁名	第二号余川橋		路線名	余川線		管轄	三朝町	
所在地	自	東伯郡三朝町穴鴨	距離標	自	0.5 km			
	至	東伯郡三朝町穴鴨		至	0.5 km			

供用開始日		1973年		活荷重・等級		不明		適用示方書		不明		
橋長		25.7 m		総径間数		1 径間						
上部構造形式		鋼鈑桁橋		下部構造形式		重力式橋台		基礎形式		不明		
交通条件		調査年	—			大型車混入率		—				
		交通量	—			荷重制限		—				
幅員			左側					中央帯		右側		
	全幅員	4.8 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線			歩道幅	地覆幅	
	有効幅員	4.0 m	0.4 m	— m	4.0 m		— m	— m	— m	0.4 m		
海岸からの距離		19.5 km		緊急輸送路の指定			—		優先確保ルートの指定		—	
路下条件		河川(余川谷川)							施業計画	有 ・ 無		

総合検査結果

健全度 (橋単位)	Ⅲ		(所見等) 支承の腐食は、断面減少が生じており、機能障害が生じる可能性があるので、対策が必要である。	
部材単位の健全度(各部材の最悪値を記入)				
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 が分かるように記載)
上部構造	主桁	Ⅰ		
	横桁	Ⅰ		
	床版	Ⅰ		
下部構造		Ⅱ	ひびわれ、遊離石灰	写真1
支承部		Ⅲ	腐食 その他(土砂堆積)	写真2 写真3
その他		Ⅱ	橋面の土砂堆積 遊間からの漏水 防護柵のゆるみ・脱落、防食機能の劣化 排水管の腐食	写真4 写真5 写真6、7 写真8

現地状況写真		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線	
個別施設整理番号					写真番号	1
					径間番号	1
					写真説明	正面状況
					撮影年月日	2019/11/7
					メモ	
					起点 ⇒ 終点	
					写真番号	2
					径間番号	1
					写真説明	正面状況
					撮影年月日	2019/11/7
					メモ	
					終点 ⇒ 起点	
					写真番号	3
					径間番号	1
					写真説明	側面状況
					撮影年月日	2019/11/7
					メモ	
					上流側	

現地状況写真		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線	
個別施設整理番号					写真番号	4
					径間番号	1
					写真説明	側面状況
					撮影年月日	2019/11/7
					メ モ	
					下流側	
					写真番号	5
					径間番号	1
					写真説明	下部工状況
					撮影年月日	2019/11/7
					メ モ	
					A1橋台 (橋台01)	
					写真番号	6
					径間番号	1
					写真説明	下部工状況
					撮影年月日	2019/11/7
					メ モ	
					A2橋台 (橋台02)	

現地状況写真					
個別施設整理番号		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線
				写真番号	7
				径間番号	1
				写真説明	下面状況
				撮影年月日	2019/11/7
				メ モ	
				終点 ⇒ 起点 (床版01)	
				写真番号	8
				径間番号	1
				写真説明	支承状況
				撮影年月日	2019/11/7
				メ モ	
				A1橋台上 (支承0101)	
				写真番号	9
				径間番号	1
				写真説明	支承状況
				撮影年月日	2019/11/7
				メ モ	
				A2橋台上 (支承0102)	

現地状況写真					
個別施設整理番号		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線
	写真番号			10	
	径間番号			1	
	写真説明			伸縮装置状況	
	撮影年月日			2019/11/7	
	メ モ				
A1橋台側 (伸縮装置01)					
	写真番号			11	
	径間番号			1	
	写真説明			伸縮装置状況	
	撮影年月日			2019/11/7	
	メ モ				
A2橋台側 (伸縮装置02)					
	写真番号			12	
	径間番号			1	
	写真説明			舗装状況	
	撮影年月日			2019/11/7	
	メ モ				
起点 ⇒ 終点 (舗装01)					

現地状況写真					
個別施設整理番号		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線
   		写真番号	16		
		径間番号	1		
		写真説明	橋名板		
		撮影年月日	2019/11/7		
		メモ			
		竣工歴:昭和48年10月			
		写真番号			
		径間番号			
		写真説明			
		撮影年月日			
		メモ			
		写真番号			
		径間番号			
		写真説明			
		撮影年月日			
		メモ			

部材番号図		橋梁名	路線名
個別施設整理番号		第二号余川橋	余川線

床版

(A1)
(A2)

01

02

03

主桁

(A1)
(A2)

01

02

横桁

(A1)
(A2)

01

02

03

04

05

06

橋台

(A1)
(A2)

01

02

支承

(A1)
(A2)

0101

0102

0201

0202

排水施設

(A1)
(A2)

0101

0102

0201

0202

舗装

(A1)
(A2)

01

地覆、防護柵

(A1)
(A2)

01

02

伸縮装置

(A1)
(A2)

01

02

損傷写真台帳					
個別施設整理番号		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線
	写真番号	1			
	径間番号	1			
	部材名称	橋台			
	部材番号	01			
	損傷の種類	ひびわれ、遊離石灰			
	健全度	Ⅱ			
	撮影年月日	2019/11/7			
	メ モ				
	橋台にひびわれ(0.45mm)が観られる。				
	写真番号	2			
	径間番号	1			
	部材名称	支承			
	部材番号	0101			
	損傷の種類	腐食			
	健全度	Ⅲ			
	撮影年月日	2019/11/7			
	メ モ				
	支承に腐食が観られる。				
	写真番号	3			
	径間番号	1			
	部材名称	支承			
	部材番号	0101			
	損傷の種類	その他(土砂堆積)			
	健全度	Ⅱ			
	撮影年月日	2019/11/7			
	メ モ				
	支承付近に土砂堆積が観られる。				

損傷写真台帳					
個別施設整理番号		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線
	 	写真番号	4		
		径間番号	1		
		部材名称	舗装		
		部材番号	01		
		損傷の種類	その他(土砂堆積)		
		健全度	Ⅱ		
		撮影年月日	2019/11/7		
		メ モ			
橋面に土砂堆積が観られる。					
 		写真番号	5		
		径間番号	1		
		部材名称	伸縮装置		
		部材番号	02		
		損傷の種類	漏水		
		健全度	Ⅱ		
		撮影年月日	2019/11/7		
		メ モ			
遊間からの漏水が観られる。					
 		写真番号	6		
		径間番号	1		
		部材名称	防護柵		
		部材番号	01		
		損傷の種類	ゆるみ・脱落		
		健全度	Ⅱ		
		撮影年月日	2019/11/7		
		メ モ			
防護柵の笠木にボルトの脱落が観られる。					

損傷写真台帳		橋梁名	第二号余川橋	路線名	余川線						
個別施設整理番号		 			写真番号	7					
					径間番号	1					
					部材名称	防護柵					
					部材番号	02					
					損傷の種類	防食機能の劣化					
					健全度	Ⅱ					
					撮影年月日	2019/11/7					
					メ モ						
					防護柵に防食機能の劣化が観られる。						
 					写真番号	8					
										径間番号	1
										部材名称	排水管
										部材番号	0201
										損傷の種類	腐食
										健全度	Ⅱ
										撮影年月日	2019/11/7
										メ モ	
										排水管に腐食が観られる。	
					写真番号						
										径間番号	
										部材名称	
										部材番号	
										損傷の種類	
										健全度	
										撮影年月日	
										メ モ	

個別施設整理番号	橋梁名			第二号余川橋				橋種	鋼鈑桁橋	
径間番号	1	路線名			余川線				年月	2019/11/7
部位・部材	鋼部材の損傷			コンクリート部材の損傷		その他		健全度 (部材単位)	備考	
部材	腐食	亀裂	破断	ひびわれ	床版ひびわれ	支承の機能障害	その他			
主桁	無	無	無				有	I	・防食機能の劣化	
横桁	無	無	無				有	I	・防食機能の劣化	
床版				無	無		有	I	・鉄筋露出	
下部工				有			有	II	①ひびわれ ①遊離石灰	
支承	無	無	無			有	有	III	②腐食 ②その他(土砂堆積)	
その他	無	無	無	無			有	II	③橋面の土砂堆積 ④遊間からの漏水 ⑤防護柵のゆるみ・脱落 ⑥防護柵の防食機能の劣化 ⑦排水管の腐食	
所見	①橋台にひびわれ、遊離石灰が観られる。水が供給されやすい状態であるため、腐食に進展する前の予防的な対策が望ましい。 ②支承に腐食が生じ、断面減少が観られるため、対策が必要である。また、土砂が堆積して支承が埋没している。滞水しやすく、腐食の要因となるため、予防的な対策が望ましい。 ③橋面に土砂堆積が観られる。排水柵の土砂詰り等の原因となるため、維持工事での対策が望ましい。 ④遊間からの漏水が観られる。伸縮装置の止水機能が低下しており、水が供給されている。主桁や支承が腐食する要因となるため、予防的な対策が望ましい。 ⑤防護柵に笠木のボルトの脱落が観られる。局部的であるが、防護機能が低下しているため、維持工事での対策が望ましい。 ⑥防護柵に防食機能の劣化が観られる。笠木全体に生じており、腐食に至る前の予防的な対策が望ましい。 ⑦排水管に腐食が観られる。現時点では排水機能に影響は無いが、腐食の進行が予想されるため、予防的な対策が望ましい。 ・主桁、横桁に防食機能の劣化が観られる。現時点では軽度であるため、経過観察とする。 ・床版下面に鉄筋露出が観られる。局部的であり、健全性に影響ないため、経過観察とする。 ・防護柵に防食機能の劣化が観られる。現時点では軽度であり、防護機能に影響はないため、経過観察とする。									

工事設計書

施 工 年 度	令和 0 7 年度
事 業 区 分	森林環境保全整備事業
路 線 名 等 河 川 名 等	林道余川線
工 事 名	第 2 号余川橋橋梁補修調査設計業務
施 工 位 置	東伯郡三朝町大字穴鴨
設 計 金 額	
工 事 概 要	第 2 号余川橋 L=25.7m W=4.8m 橋梁補修調査・設計 N=1橋

総括情報表

頁0-0002

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	78 三朝町 設計書 当初 07-*****-00001-10 0 1 実施単価 23 三朝町 00-07.07.10(0) 5 委託(H28.12～)		
	当 世 代		前 世 代
発注先区分 施工管理費(調査)	01 建設コンサルタント 01 率分計上しない		

工事内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
調査業務費										X2000	
橋梁補修詳細調査										Y1999 (レベル1)	
										A=(X2000地質)機械ボーリング	
		1		式						工種 第0001号表	
直接調査費											
旅費交通費										Z0006	
					式						
旅費交通費（地質調査業務）										F0002 00	
											070710
	直接調査費の2.14%	1		式							
間接調査費											
純調査費											
諸経費											
					式						
業務価格											

工事内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
設計業務費										X4000	
橋梁補修設計										Y1999 (レベル1) A=(X4000設計)概略・予備・詳細設計	
		1		式						工種 第0002号表	
直接人件費等											
旅費交通費										Z0001	
					式						
旅費交通費（設計業務）										F0003 00	
		1		式							070710
業務成果品費（電子成果品作成費）	直接人件費の0.63%									Z0002	
					式						
電子成果品作成費(設計) 概略・予備・詳細設計										STM2018X4 00 A=5	
		1		式						施工 第0 -0018号表	070710
直接経費											
直接原価											

工事内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
その他原価											
					式						
間接原価											
業務原価											
一般管理費等											
					式						
業務価格											
業務価格計											
消費税等相当額計											
					式						
業務費計											

橋梁補修詳細調査

Y1999

工種明細書

工種 第0001号表

頁0-0006

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
詳細調査					Y2999 (レベル2)
現地踏査 歩掛補正（類似設計あり）		式			V0001 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	式			施工 第0 -0001号表
調査計画 歩掛補正（類似設計あり）					V0002 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	式			施工 第0 -0002号表
形状調査・一般図作成 歩掛補正（類似設計あり）					V0103 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0003号表
変状調査・上下部工					V0104 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0004号表
調査結果とりまとめ					V0106 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0005号表
路面土砂撤去・枝伐採					V8001 00
	1	式			施工 第0 -0006号表
橋梁点検車運転					V8002 00
	3	日			施工 第0 -0007号表
* * 単位当り * *					
	1	式			

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A=1	(X2000地質)機械ボーリング					

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
詳細設計					Y2999 (レベル2)
		式			
設計計画 歩掛補正（類似設計あり）					V1001 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	式			施工 第0 -0008号表
原因推定および健全度評価 歩掛補正（類似設計あり）					V1102 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0009号表
補修工法の比較検討 歩掛補正（類似設計あり）					V1103 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0010号表
補修詳細設計（支承防錆） 歩掛補正（類似設計あり）					V1110 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0011号表
補修詳細設計（上下部工等） 歩掛補正（類似設計あり）					V1204 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0012号表
施工計画 歩掛補正（類似設計あり）					V1207 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0013号表
概算工事費の算出					V1108 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	橋			施工 第0 -0014号表
照査					V2001 00
補正対象（橋面積=120m2）	1	式			施工 第0 -0015号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
報告書作成 歩掛補正（類似設計あり） 補正対象（橋面積=120m2）					V1111 00
	1	橋			施工 第0 -0016号表
設計協議 初回、中間 2 回、最終					V1009 00
	1	式			施工 第0 -0017号表
* * 単位当り * *					
	1	式			
A=5 (X4000設計)概略・予備・詳細設計					

施 工 単 価 表

現地踏査
歩掛補正（類似設計あり）

V0001

施工 第0 -0001号表

補正対象（橋面積=120m2）

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (外業)	0.25	人			R0870 歩掛補正（0.5人*0.5）
技師（B） (外業)	0.25	人			R0890 歩掛補正（0.5人*0.5）
面積補正		式			+00
* * 単位当り * *	1	式			

施 工 単 価 表

調査計画
歩掛補正（類似設計あり）

V0002

施工 第0 -0002号表

補正対象（橋面積=120m2）

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.25	人			R0610 歩掛補正（0.5人*0.5）
技師（A） (内業)	0.25	人			R0620 歩掛補正（0.5人*0.5）
技師（B） (内業)	0.50	人			R0630 歩掛補正（1.0人*0.5）
面積補正		式			+00
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	式			

形状調査・一般図作成
歩掛補正（類似設計あり）

V0103

施 工 単 価 表

施工 第0 -0003号表

補正対象（橋面積=120m2）

1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） （外業）	0.25	人			R0880 歩掛補正（0.5人*0.5）
技師（B） （外業）	0.50	人			R0890 歩掛補正（1.0人*0.5）
技師（C） （外業）	0.50	人			R0900 歩掛補正（1.0人*0.5）
面積補正		橋			+00
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	橋			

施 工 単 価 表

補正対象（橋面積=120m2） 1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (外業)	1.00	人			R0870
技師 (A) (外業)	1.50	人			R0880
技師 (B) (外業)	2.50	人			R0890
面積補正		橋			+00
* * 単位当り * *	1	橋			

施 工 単 価 表

補正対象（橋面積=120m2） 1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (外業)	0.50	人			R0870
技師（A） (外業)	1.00	人			R0880
技師（B） (外業)	1.00	人			R0890
技師（D）（技術員） (外業)	1.50	人			R0905
面積補正		橋			+00
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	橋			

路面土砂撤去・枝伐採

V8001

施 工 単 価 表

施工 第0 -0006号表

頁0-0015

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	2.0	人			RTPC00002
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	式			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1	人			RTPC00006
橋梁点検車賃料	1	台・日			F1001 建設物価5月807頁
* * 単位当り * *	1	日			

施 工 単 価 表

設計計画
歩掛補正（類似設計あり）

V1001

施工 第0 -0008号表

補正対象（橋面積=120m2）

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 （内業）	0.25	人			R0610 歩掛補正（0.5人*0.5）
技師（A） （内業）	0.75	人			R0620 歩掛補正（1.5人*0.5）
技師（B） （内業）	0.75	人			R0630 歩掛補正（1.5人*0.5）
面積補正		式			+00
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	式			

施 工 単 価 表

原因推定および健全度評価
歩掛補正（類似設計あり）

V1102

施工 第0 -0009号表

補正対象（橋面積=120m2）

1

橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） （内業）	0.6	人			R0620 歩掛補正（1.2人*0.5）
技師（C） （内業）	0.6	人			R0640 歩掛補正（1.2人*0.5）
面積補正		橋			+00
* * 単位当り * *	1	橋			

施 工 単 価 表

補修工法の比較検討
歩掛補正（類似設計あり）

V1103

施工 第0 -0010号表

補正対象（橋面積=120m2）

1

橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 （内業）	0.3	人			R0610 歩掛補正（0.6人*0.5）
技師（A） （内業）	0.3	人			R0620 歩掛補正（0.6人*0.5）
技師（B） （内業）	0.6	人			R0630 歩掛補正（1.2人*0.5）
技師（C） （内業）	0.9	人			R0640 歩掛補正（1.8人*0.5）
技師（D）（技術員） （内業）	1.2	人			R0645 歩掛補正（2.4人*0.5）
面積補正		橋			+00
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	橋			

施 工 単 価 表

補修詳細設計（支承防錆）
歩掛補正（類似設計あり）

V1110

施工 第0 -0011号表

1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B） （内業）	0.50	人			R0630 歩掛補正（1.0人*0.5）
技師（C） （内業）	0.50	人			R0640 歩掛補正（1.0人*0.5）
技師（D）（技術員） （内業）	1.0	人			R0645 歩掛補正（2.0人*0.5）
* * 単位当り * *	1	橋			

施 工 単 価 表

補修詳細設計（上下部工等）
歩掛補正（類似設計あり）

V1204

施工 第0 -0012号表

補正対象（橋面積=120m2）

1

橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） （内業）	0.3	人			R0620 歩掛補正（0.6人*0.5）
技師（B） （内業）	0.6	人			R0630 歩掛補正（1.2人*0.5）
技師（C） （内業）	0.6	人			R0640 歩掛補正（1.2人*0.5）
技師（D）（技術員） （内業）	1.2	人			R0645 歩掛補正（2.4人*0.5）
面積補正		橋			+00
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	橋			

施 工 単 価 表

施工計画
歩掛補正（類似設計あり）

V1207

施工 第0 -0013号表

補正対象（橋面積=120m2）

1

橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） （内業）	0.3	人			R0620 歩掛補正（0.6人*0.5）
技師（C） （内業）	0.3	人			R0640 歩掛補正（0.6人*0.5）
面積補正		橋			+00
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	橋			

概算工事費の算出

V1108

施 工 単 価 表

施工 第0 -0014号表

頁0-0023

補正対象（橋面積=120m2） 1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B） （内業）	0.6	人			R0630
技師（C） （内業）	1.2	人			R0640
技師（D）（技術員） （内業）	1.2	人			R0645
面積補正		橋			+00
* * 単位当り * *	1	橋			

照査

V2001

施 工 単 価 表

施工 第0 -0015号表

頁0-0024

補正対象（橋面積=120m2） 1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	1.2	人			R0610
技師 (A) (内業)	1.2	人			R0620
面積補正		式			+00
* * 単位当り * *	1	式			

施 工 単 価 表

報告書作成

V1111

施工 第0 -0016号表

歩掛補正（類似設計あり）

補正対象（橋面積=120m2）

1

橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.35	人			R0610 歩掛補正（0.7人*0.5）
技師（B） (内業)	0.75	人			R0630 歩掛補正（1.5人*0.5）
技師（C） (内業)	1.25	人			R0640 歩掛補正（2.5人*0.5）
技師（D）（技術員） (内業)	1.25	人			R0645 歩掛補正（2.5人*0.5）
面積補正		橋			+00
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	橋			

設計協議
初回、中間2回、最終

V1009

施工単価表

施工 第0 -0017号表

頁0-0026

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	1.0	人			R0610
技師 (A) (内業)	2.0	人			R0620
技師 (B) (内業)	1.0	人			R0630
* * 単位当り * *	1	式			

電子成果品作成費(設計)
概略・予備・詳細設計

STMR2018X4

施工単価表

施工 第0 -0018号表

頁0-0027

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電子成果品作成費	1.00	式			E0001
* * 単位当り * *	1	式			
A=5 概略・予備・詳細設計					